

報道各位

「造本装幀コンクール」ニュースリリース

2018年3月13日

第51回造本装幀コンクール 日本印刷産業連合会会長賞 受賞  
『くままでのおさらい 特装版』（ビーナイス刊）  
「世界で最も美しい本コンクール」 銀賞 受賞!!

平素より、ご高配を賜り御礼申し上げます。第51回造本装幀コンクール（2016年出版の書籍が対象）にて、日本印刷産業連合会会長賞を受賞した『くままでのおさらい 特装版』（ビーナイス刊）が、「世界で最も美しい本コンクール 2018」で銀賞を受賞いたしました。

「世界で最も美しい本コンクール」は、各国のブックデザイン賞の入選作品等が審査対象となり、今回は33カ国から608作品がエントリーされました。日本からは、「第51回造本装幀コンクール」（主催：日本書籍出版協会、日本印刷産業連合会）に入賞した21作品を出品いたしました。

銀賞を受賞した『くままでのおさらい 特装版』は7カ国から選ばれた審査員らから「表紙に施された黄色いクロスは、見た目にはわからないが触ると感じられる特殊なガーゼを用いており、その感触がこの横開きの布の本を開くのをしばしためらわせる。表紙の円形のレリーフは、縁とくぼみをもった皿を思わせ、エンボス加工ではなく三層構造で仕上げられている。表紙の第一層、二層が、円形に抜かれており、このレリーフの深さによって、はっきりとそして柔らかな影を持つ皿を表現している。」（講評一部抜粋）と評されました。また、最終選考には次の2点も選出されました。『ウィリアム・ホガース“描かれた道徳”の分析』（伊丹市立美術館刊）、『根源乃手 根源乃（亡露ノ）手、……』（響文社刊）。これら全ての出品作品は、ライプツィヒ・ブックフェア（3月15日～18日）で展示され、3月16日（金）16時（現地時間）から同会場内で授賞式が開催されます。

一昨年の『MOTION SILHOUETTE』（梶原恵、新島龍彦刊）銅賞受賞、昨年の『21世紀スポーツ大事典』（大修館書店刊）栄誉賞受賞に続き、日本の出版、装幀、印刷、製本業界にとって大変喜ばしいニュースとなりました。

また、造本装幀コンクールは52回目を迎え、現在4月27日まで出品作品を募集しています。昨年2017年に出版された書籍を対象とし、本の出版に携わった方であればどなたでも応募することができます。今回の受賞作品も、「世界で最も美しい本コンクール 2019」へ日本を代表して出品され、ライプツィヒ・ブックフェアおよび、10月のフランクフルト・ブックフェアで展示されます。

報道関係者の皆様、受賞および造本装幀コンクールの周知にご協力賜りますと幸いです。

【本件に関するお問合せ】

造本装幀コンクール事務局 平岩 zouhon@jpic.or.jp

（一財）出版文化産業振興財団（JPIC）内 TEL. 03-5211-7282/FAX. 03-5211-7285

「世界で最も美しい本コンクール 2018」銀賞 受賞  
『くままでのおさらい 特装版』作品詳細



『くままでのおさらい 特装版』

出版社：株式会社ビーナイス

発行年月：2016年11月

装幀者：竹歳明弘（スタジオビート）

本体価格：4,600円

印刷会社：中野活版印刷店

ISBN：978-4-905380-38-5

製本会社：美篤堂

◆世界で最も美しい本コンクール概要◆

1963年より開催している世界でも権威のあるコンクールであり、国際的な審査員はライブツイヒに集まり、世界中から集まった書籍のデザインと製作における最高の成果を評価します。

今年は、33カ国から608作品の出品があり、そのうち14点が受賞しました。日本からは21作品を出品し、最終候補には3作品\*がノミネートされ、うち1作品が銀賞を受賞しました。

\*【銀賞受賞】『くままでのおさらい 特装版』（ビーナイス刊）

『ウィリアム・ホガース“描かれた道徳”の分析』（伊丹市立美術館刊）

『根源乃手 根源乃(亡露ノ)手、……』（響文社刊）

賞 名：金の活字賞…1点、金賞…1点、銀賞…2点、銅賞…5点、栄誉賞…5点

主 催：ドイツ・エディトリアルデザイン財団